

など補正

12月定例会

一般会計

補正額

5億4,376万1千円

予算総額

214億6,268万7千円

補正予算の主なもの

12月定例会は、11月30日から12月10日までの11日間の会期で開催されました。補正予算や条例改正など議案21件、同意4件など慎重審議の結果、可決・同意され、陳情については2件を継続審査、1件を不採択としました。また、意見書1件を採択し、関係大臣に提出しました。

総務費

○公共施設等整備基金費

2億8540万円

今後の公共施設等整備に要する財源確保のため基金へ積立を行うものである。

○移住定住促進対策事業費

990万円

今後の執行が見込まれる住宅取得13件、リフォーム1件など増額するものである。

審査の中で

問 現時点での地域ごとの申請件数は。

答 額妊地域20件、知覧地域17件、川辺地域25件の計62件である。

○秘書人事関係費

326万5千円

臨時職員の社会保険料率の改正及び雇用保険制度の改正などに伴う臨時職員共済費などを増額するものである。

○戸籍住民基本台帳費
(一般経費)

738万円

パスポート発行事務に伴い端末機器などを購入するための経費や住基法改正に伴うシステム改修経費などである。

審査の中で

問 パスポート発行手続きは各支所で可能となるのか。

答 市民の利便性を考慮し、可能となるよう検討中である。

過疎地域自立促進特別措置法の改正により過疎対策事業債へ変更などが9億4,580万円

(過疎対策事業債については後年度にわたり、国から交付税による財源措置があります。)

変	林業債	20万円
更	小学校債	9,050万円
	学校給食債	4億2,180万円
新規	一般財源	4億3,330万円

市債が4億3,330万円増え
総額28億791万8千円に

公共施設等整備基金費

民生費

○障害者自立支援給付事業費

9463万6千円

平成22年4月より非課税者の自己負担金（原則1割）が無料となったことから給付予定額を増額するものである。

○かつめ保育所費

348万6千円

入所児童増に伴い職員定数増となり賃金などを



知覧温泉センター

○温泉センター管理費

150万円

落雷や突発的な修繕に対応するため増額するものである。

○施設整備等補助事業費

3650万3千円

平成22年3月の北海道グループホーム火災を受け、国の緊急対策に基づくスプリンクラーなどの整備に対する補助である。

商工費

○平和コンサート開催事業費

▲306万円

口蹄疫感染防止に伴いコンサートを中止したため、委託料などの経費を減額するものである。

教育費

○安全・安心な学校づくり交付金事業費

▲271万2千円

田代小学校の屋内運動場の耐震補強及び大規模改造工事に係る設計費入札執行に伴う不用額を減額するものである。

審査の中で

問 多額の入札執行残になつてゐるが、その理由は。

答 新しい委託業務報酬基準により積算を増額し予算措置したためである。

○小学校教育振興事業費

1727万5千円

平成23～26年度に使用する教師用教科書・指導書を購入するものである。

○ミュージアム知覧管理費

59万1千円

音響機器の修繕などのため増額するものである。

○川辺文化会館管理費

688万3千円

非常用電源装置及びホール避難誘導灯の故障による取替費用である。

審査の中で

問 当初予算ではなく、今回の補正計上となつた理由は。

答 平成21年1月の消防設備点検時に指摘を受け、修繕での対応を検討したが、部品がなく取替えるものである。



ミュージアム知覧で学習する小学生

○茶園新・改植事業費

202万4千円

受益面積が11・423ヘクタール増加したため10アール当たり1万8千円以内で補助するものである。

○県単独茶園改植事業費

103万9千500円

受益戸数77戸、受益面積20・801ヘクタールに対し、10アール当たり5万円以内で補助するものである。

○普通公園施設整備事業費

120万円

屋駒ヶ水線、樋与上線、永田本別府線、平山松崎線、清水小学校前線の6路線を整備するものである。

番所公園駐車場61台分の区画線と案内看板2基を整備するものである。

○公共下水道事業特別会計繰出金

▲914万2千円

前年度繰越金が確定したため、減額するものである。

特別会計

介護保険事業

○居宅介護サービス給付費

3500万円

居宅介護サービス利用が増加しており、予算に不足を生じるため増額するものである。

○介護予防住宅改修費

220万円

介護予防住宅改修申請が増加しており、予算に不足を生じるため増額するものである。

企業会計

水道事業

○拡張費

253万7千円

知覧地域の共親地区における水源開発の施設改良に伴う用地補償費を増額するものである。

土木費

○市道補助整備事業費

1億5000万円

国の追加事業により、市道の測別府折尾線、塩



ひび割れが目立つ市道平山松崎線

農林水産業費

○鳥獣被害防止総合対策交付金事業費

160万7千円

有害鳥獣捕獲対策協議会への県補助金である。

イノシシ箱罠 20基
タヌキ箱罠 10基
カラス罠 1基

○やすらぎの郷管理運営費

48万9千円

(社)九州建設弘済会から道の駅川辺やすらぎの郷の機能向上を目的に寄附があり、障害者用駐車場などを整備するものである。

イノシシ被害にあったイモ畑